

会 議 記 録

次の審議会（協議会）を下記のとおり開催したので報告します。

審議会等名称	令和2年度第1回 社会教育委員・公民館運営審議会委員 会議		
開催日時	令和2年7月30日（木）10:00～12:00		
開催場所	近江八幡市総合福祉センター 2階 研修室1・2		
出席者 会 長◎ 副会長○	<社会教育委員> ◎大橋委員 ○中江委員 楠亀委員 土田委員 明石委員 松本委員 北委員 松岡委員 久郷委員 吉井委員 中野委員 三木委員 重野委員 綿貫委員 高橋委員 <説明者・事務局> （挨拶） 日岡教育長 （説明者） 東生涯学習課長 （事務局） 北居生涯学習課参事 中川生涯学習課副主幹		
次回開催予定日	未定		
問い合わせ先	所属名・担当者名： 近江八幡市教育委員会事務局生涯学習課 中川 電話番号：0748-36-5533 Fax番号：0748-36-5565 メールアドレス： 045000@city.omihachiman.lg.jp		
会議記録	発言記録・要 約	要約した理由	内容が整理され、記録として残すことに適しているため

事務局	1. 開会 (1) 委嘱状交付 (2) 教育長挨拶 (3) 自己紹介 →教育長他用務により退席
事務局	2. 各役員について ・委員長と副委員長選出
委員長	委員長挨拶
事務局	会議出席者の報告 ↓ 議事を交代（委員長による議事進行）
委員長	3. 報告・協議事項 (1) 令和2年度近江八幡市教育行政基本方針並びに重点施策について
生涯学習課長	「令和2年度近江八幡市教育行政基本方針並びに重点施策について」説明。
委員長	説明について、質問・意見を求める。
委員	・この教育大綱があって、3つの柱、5つの視点、16の目標があって、それを実現していくための順番のものが教育行政基本方針というふうに構成されていると思うが、16の目標があって、その基本方針が5項目あって、重点施策があるが、その重点施策は16の目標と関連してるのか、基本方針と関連してるのか、わかりにくい感じがした。 ・「教育振興基本計画【後期】における施策及び令和2年度事業」の表は、16の目標と施策が関連しているが、基本方針の5項目はどこへ行ったのか。例えば、基本方針で「働き方改革の実現」というのがあるが、以降、ほとんど出てきている気配が無いように思う。基本方針がどこに反映されているのかがわかりにくい。全体的に何を重点として何をしようとしているのかが、ちょっとわかりにくいような感じがした。 ・2ページのところの5つの視点というところの、これは大綱なのでこういうような抽象的でキャッチフレーズ的な言葉になるのだろうと思うのだが、特に③の「親力を高める」というのを、資料に目を通して見たが、「親力を高める」というのが、「教育機会の提供と充実を図る」という部分しか出てこないし、その内容も16ページの表を見ると、達成状況の確認がマナビ通信の年間発行回数が年2回、市民大学講座の年間実施回数が年10回、ボランティア対象の研修会が年2回以上、市広報への活動紹介支援が4回以上というようなことで、その親力を高めるというのは、ちょっともう少し違う方向がないのかという感じがした。全体的に何か、わかりにくい感じがした。
生涯学習課長	・令和2年度の「教育行政基本方針及び重点施策」ということで、8ページ以降の所属重点目標については、今年度このようなことで教育委員会の担当課が重点目標として挙げさせてもらったものになる。大きく教育大綱の部分では上位にあるが、個々の事業についてまで、ご意見いただいたように、そこまで反映できていない部分があるように思う。 ・働き方改革については、教職員の働き方改革というところで、学校教育課の中で働き方改革を進めるというような部分で、触れているところがある。 ・生涯学習課に係る部分について、「親への学習機会」というところでも目標があるが、なかなか事業をやっている中で対象者が一部に限られているようなところもあるので、広く対象の方に来ていただけるようにまた事業を進めていかなければ

	ならないことは考えている。
委員	・基本、目標があつて、目標を実行するための基本方針であつて、基本方針に基づいて重点施策があるのではと思ったが、表を見ていると、目標に対しての基本施策の表になっているので、基本方針はどこに行ったのか、どういう関連がされているのか。
委員	・ 8 ページの教育研究所というのは、どこにあるのか。 ・ パソコンのことがよく出てきているが、パソコンの状況というのはどのように進んでいるのか。 ・ 6 ページのところに「保護者のニーズに沿った弾力化制度を検討し、通学・通園区域の弾力化制度を促進する」とあるが、今のエリアを広げることなのか。
生涯学習課長	・ 教育研究所については、11 ページに教育委員会の組織の図をご覧いただくと、学校教育課の中に教育研究所という部署があり、そこで、8 ページに書いてある事業を行っている。
委員	何人かが来られているのか。
生涯学習課長	・ 所長と研究主事、研究員、の3名の職員が所属している。 ・ パソコンの関係について、8 ページの教育総務課と学校教育課のところで触れているが、今年度、ギガスクール構想として、1人1台子どもにパソコンを配備するというような事業であり、この事業が今、全国的に前倒しにすることによって、今年度この整備をするための補正予算がついたもので、今年度中に1人1台パソコンをとということで、推進しているところである。
委員	小中学校全員か。
生涯学習課長	小中学校全員です。
委員	1年生からか。
生涯学習課長	1人1台ということですので、そうです。
委員	タブレットか。
生涯学習課長	・ タブレットのパソコンになり、学習活動の充実を図るとということで、今進んでいるところである。 ・ 6 ページのところの「保護者のニーズに沿った弾力化制度を検討し、通学・通園区域の弾力化制度を促進」については、学校教育課の所管になるので、弾力化について検討するというようなところではあるが、詳細なところは今お答えができない。
委員	・ 「通学区域の弾力化を進めている」ということについて、少し説明します。沖島小学校が近江八幡市内全ての学区からということで、導入している。島、武佐、老蘇、馬淵小学校へは、八幡、岡山、金田、桐原、桐原東、北里、安土小学校区から通学できるといった導入を進め、金田小学校区も、八幡小学校または桐原東小学校の方に通学できる弾力化を、近江八幡市教育委員会としては導入している。私の方から、付け加えさせていただく。
委員長	(2) 令和元年（平成31年）度近江八幡市生涯学習推進実施計画進捗管理について

生涯学習課長	「令和元年（平成31年）度近江八幡市生涯学習推進実施計画進捗管理について」 説明
委員長	説明について、質問・意見を求める。
委員	・事業評価のというのは、何をものさしにして評価するか、ちょっとものさしを変えると全然違う答えというのがあるような気がする。毎年見ていて、ものさしの置きようというのが、5年前に置いたものさしを、今そのままなら、中味が良くても成績が落ちていくということもあると思うので、1に上がりましたとか4に落ちましたとか言われても、もうちょっと精査の仕方が必要かと思う。 ・社会情勢に照らして評価してるかどうか。例えば高齢化ということをいわれたら、最初に意見であったような重点施策等が先にベースにあって、それにちゃんと沿っていたら○、達成はできなかったけど、この姿勢で行くというのなら○、来年もその姿勢で行くというようなことになっていくような、その全体構造がそういうふうになっていって、実施していくというふうな理論はできないのか。こういうものとの整合というのがあった中で、ひとつの大きいものを作っておいてそれに合っていれば○、合っていなければ×、というふうになるような評価の方法はないか。
委員	・「教育行政基本方針及び重点施策」の表と「生涯学習推進実施計画進捗状況報告書」の表とがどういうふうな関係になっているのかがよくわからない。
生涯学習課長	・中野委員からのご質問のところで、「教育行政基本方針並びに重点施策」の方に載っている部分については、「教育振興基本計画【後期】における施策」の部分の事業についてまとめられており、その中に生涯学習課で実施している「近江八幡市生涯学習社会づくり構想・実施計画」の部分で、その中の事業を取り出したものが、この資料2の「生涯学習推進実施計画の進捗管理報告」になる。
委員	・資料1「教育行政基本方針並びに重点施策」の方は今年度の目標で、資料2「生涯学習推進実施計画進捗管理報告書」は前年度についてのものになるので、ちょっと違うものになる。例えば、平成30年度なら平成30年度の目標を見る必要がある。 ・資料1と資料2の連携がわかりにくいので、今後はちょっと紐づけしてもらったらいいかと。
委員	・基本計画と生涯学習推進実施計画進捗管理との関連はどうなっているのかが、全然わからない。進捗管理報告書の中の事業リストも、基本計画のどれと関連づけられているかわからない。 ・生涯学習推進実施計画の中の事業から、今度は逆さまに戻って、教育行政方針の16の目標の中のどれと関連するのかというのが、どこかでわかったらいいのに。
生涯学習課長	・紐づけができてないということになっているようなので、わかるようにしていきたい。
委員	・項目を入れて、どこに関連しているのかがわかればいい。
委員	・今の評価の仕方については、前年目標こうやったから、下がった、上がったというようにされるけど、社会情勢は年々変わっているんで、その時になって、この目標こうやったけど、こう情勢が変わったので、こういう風に変えました、それで今はできました、でいいと思う。数字だけにとらわれると、社会情勢によって全然変わってくるから、それはこういう風に、例えば今コロナの問題やったら、こういうふうに変ったのでこういう方法でやって、これでできたと、いう、それでいいと思う。

委員	・来年の報告を書く時に、コロナがあるから、ものすごく変わるのではないかな。
委員	・評価というものが実効性に本当に結びつくか、次の年に本当に生きていっているのかというのが、本当は目を通すべきなのだが、工夫がないのかなあと思う。
委員長	・私自身にもよく似たことがあり、長浜市でも目標値について色々問題があって、非常に大きな目標値を設定される。各担当課の人は一生懸命やっておられるが、目標は達成されて当たり前ということになってしまい、ものすごく背伸びした目標値を設定される。その結果、達成できなくなる、ということもあるので、目標値を出される場合には、先ほども言われたように、現実的な、実現可能なところでの目標設定をしていかないと、何の意味もなくなってしまうので、そのあたり、実現ができそうな、そういうところで、目標値を設定していただくのがいいのかなというふうに思う。 ・評価のもののさしが変われば、評価も変わってまいりますので、色々な事業について、いったいどういうもののさしが適切なのか、というところをご検討いただきながら、無理のない目標値の設定をお願いしたい。
委員長	(3) 部会について
事務局	「部会について」説明
委員長	説明について、質問・意見を求める。 → 質問・意見なし
委員長	(4) 令和元年（平成31年）度部会の報告について
委員	「学校と地域の連携・協働」部会の報告
委員	「コミュニティセンターと社会教育」部会の報告
委員長	報告について、質問・意見を求める。
委員	・PTA関係のことで。 PTAは任意加入となっているが、ある学区で色々問題があって、PTAには加入しない保護者が出てきた。今の若いお母さんたちは働いておられ、PTA活動になかなか参加できないというのが現状で、従来通りのPTA活動というのがしんどいので、そしたら、入らんでもやってくれはる、というのが、今の人の考えで、そうすることによって、お母さん方の交流とかにはなかなか繋がらなくなっていくというのがひとつの問題になっている。PTAっていうのはこういうことをするんですよという周知もない。学校に子どもが行って、学校があって、PTAとして、親としてはこういうことを最低限支援したらよい、みたいなことがわかるひとつの指針みたいなものがあつたら、逆に、あ、このぐらいやったらできるかな、とかいうふうにもなるし、見直しが大事なんかなあと思っている。今、こういう時代なので、なかなか人が集まらないというのも、要はええ機会かな、というような思いがあって、そういうことも考えるっていうのが大事かと思うし、ちょっとお願いしたいなあというふうに思っている。一人加入しなかったら連鎖反応で、お母さん方、友達とメールとかもよくされているので、そういう関係もあって、何にも考えんとやめるとか、加入しなくてもいいか、というのが自然に出てくるのが一番怖いので、校長先生とかPTAさんとか運営協議会で色々話し合って、そのような問題を、これからは発生する可能性があるので、検討していく必要があるように思う。 ・今コロナの問題で、本来4月から登校するのに今年度は6月になって初めて登校したので、高学年と低学年の交流ができてない。この7月に入って初めて、高学

	年の人が「低学年が全然言うこと聞かへん」と言い、これは今までの経験から初めて出てきた。コロナで3か月間学校に行けなかったということは、高学年の考え方と低学年の初めて来る子の考え方と全然違うので、どうしたらええのかわからへん、というような困り感や問題が発生していると思う。今、やっと7月に入って、やっと高学年と低学年が、学校こういうふうなんや、学校行って、初めてお兄ちゃんお姉ちゃんと交流が出てきたんで、ちょっとは安心かなあと。ここにいてくれてはるP T Aさんもちょっとくらいは安心してはるかなあと。そういったことを先生だけに任せるのではなく、やっぱり地域として、スクールガードとか、色んな運営委員さんなどがおられる中で、子どもは全然わからないので、教えてあげるのが一番かと思う。これからコロナの問題で、修学旅行も行けないとなったら、そのケアっていうのをどうすればいいのかっていうのは、僕ら、親が、親っていうか大人が考えて、子どもの意見を聞いて、どうして出来るのかっていうのをみんなで考えることが、教育委員会さんだけで、教育長はやめようと思うて言われたけれど、それは逆に言うたら私たちは将来が来たら、こんなことがあったっていう思い出かもわからんけど、今の子どもの気持ちを考えたら、どうしたら出来るかっていうのは、これからみんなで考えていく方が大事だと思う。要はどうしたら出来る、どうしたら出来るかを我々が考える。費用はかかるかもしれないが、将来の子どものことやから、変に屈してもらったら困るとすごく思っているんで、それは僕らが意見を言うて、予算をもうちょっとあげてとか、何かの方法をとってとかいうのが、ここの提案できる力ではないかと思っている。
委員	・ P T Aの話に関して、「P T Aのトリセツ」、取扱い説明書の意味で、「P T Aのトリセツ」という本がある。本の流通のルールがあって、本屋行っても図書館行っても入らないので、ネットで買うしか仕方ない。執筆者の名前は出てこないが、神戸市の事例だったと思う。その中に強烈なことが書いてあって、けどものすごく参考になることが書いてある。私にはものすごく参考になると思った。それがコミュニティ・スクールというものの考え方に、どこか底辺で繋がる部分がある。その中に要素としてあるなと思いながら、ちょっとパラパラと見た。今、全国的に悩みというか問題になっていることなので、切り込んである内容。
委員長	各部会におかれましては昨年度、そのような形でそれぞれ部会をもっていただき、研鑽いただいた。本年度のおきましても継続して活動をしていただきたい。
委員長	4. 連絡事項
事務局	「連絡事項」について説明。
委員長	説明について、質問・意見を求める。
委員	生涯学習課の方で計画されている市民大学講座とか中央公民館講座の日程等はお知らせいただけるか。
事務局	・ 今年度市民大学講座は、このような状況のため、すべて中止になった。 ・ 中央公民館講座の屋外の部に関しましては、状況を見ながら秋口に決断を出す予定。
委員	その他、懐かしの名画座とかは。
事務局	これも行う予定ではあるが、今の時点では未定。
委員	部会をそれに絡めて、講座に参加して、そのあと簡単にちょっと皆さんで部会を開けたら、そのような講座への参加にも繋がるし、生涯学習課の活動への理解にも繋

事務局	がと思ったので。 ありがとうございます。また検討して連絡させていただきます。
委員	8月の最後の土曜日と9月の最初の土曜日に、西の湖を眺める催しを開催するので、ご参加ください。私の所属している関連で、地域の自然を皆さんに知っていただこうというもの。8月の最後の土曜日と9月の最初の土曜日、2回開催するので、夕方、安土のB&Gのところへおいでいただいたら、7時ごろまで開催している。
委員長	5. 閉会
副委員長	閉会のあいさつ